



社会医療法人 慈生会 等潤病院

医師募集概要

2024



〒121-0075
4-3-4 Hitotsuya
Adachi-ku, Tokyo

地域と共に生きる
慈しみの
トータルヘルスケア

地域の皆さまが健康で
いきいきと生活できる
医療・介護を目指して




社会医療法人社団 慈生会
等潤病院

安全で良質な医療を地域の病める人の為に 等しく提供します

当院は東京都足立区にて地域の病める人々の為に安全で良質な医療を提供しております。最新鋭の3テスラMRI等高性能機器を導入し、救急医療等の地域に必要な医療を担う公益性の高い社会医療法人です。



高性能な検査機器で精度の高い検査

最新かつ高性能な検査機器の導入で病気の早期発見や小さな病変の発見が可能です。



負担が少ない低侵襲手術 多数の腹腔鏡下手術実績

低侵襲で体に負担が少ない腹腔鏡下手術を積極的に行っています。



整形外科スペシャリストによる診察・手術

人工股関節の分野での著名な医師や膝・脊椎専門医が在籍しており、専門的な診察・手術を提供しています。



24時間365日安心の救急医療

年間3000件以上の救急搬送実績があり、救急医療の東京ルールに参画し、コロナ関連救急の受け入れを固持しています。

診療科目

<内科系>

内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・人工透析・糖尿病内科
神経内科・血液内科

<外科系>

外科・乳腺外科・整形外科・消化器外科・脳神経外科・血管外科・肛門外科
麻酔科・泌尿器科

<その他診療科>

放射線科・救急科・リハビリテーション科・緩和ケア科・リウマチ科・皮膚科

理事長・院長インタビュー

急性期から回復期まで、安全で良質な医療を 地域のために

—— 等潤病院のご紹介をお願いします

当院は1974年に開設された足立クリニックを前身とし、1979年に等潤病院に改組されました。現在は二次救急医療機関として年間3,000台以上の救急搬送を受け入れながら、急性期から回復期まで地域の安全で良質な医療を担っています。

足立区には公的病院や大学病院といった基幹病院がなく、民間病院が地域医療を守り続けてきた歴史があります。2022年には区内に初めての大学病院として東京女子医科大学附属足立医療センターが開設されましたが、まだ開設間もないことや分院としての位置付けであることから、引き続き民間病院が地域において大きな役割を果たしています。

—— 法人理念を非常に重視されていると伺いました

当法人の掲げる理念は「地域と共に生きる慈しみのトータルヘルスケア」です。“トータルヘルスケア”とは、急性期から回復期、在宅医療や訪問看護、介護サービス、予防医療までを含めたシームレスなサービス提供です。当法人の中で全てが完結できるような統合的な医療を目指しています。

足立区は東京23区で2番目に高齢化率が高い地域です。全世帯の約一割が都営住宅の世帯であり、高齢者の単独世帯や老老介護世帯が多くなっています。都心に比べて土地があるため介護施設も多く、施設に入居されている高齢者も一定数いらっしゃいます。

こうした地域の皆さまが住み慣れた場所で豊かに暮らし続けることができるよう、急性期・回復期を担う等潤病院を中核に、慈しみの心を持って地域の医療介護へ貢献しています。



—— 等潤プロフェッショナルについて教えてください

当院の医療を支える4つのスペシャリティである

（１）高度最新の医療、（２）充実したIT環境、（３）充実したリハビリテーション、（４）トータルヘルスケアを支える安心・信頼の患者支援、を等潤プロフェッショナルとして掲げています。

「高度最新の医療」については、最新の治療を取り入れると共に、320列CT装置や3T-MRI装置といった大学病院に引けを取らない最新の医療機器を導入し医療の質向上に努めています。

「充実したIT環境」では、他の医療機関との電子カルテ連携や介護事業所との医療介護システム連携を他に先駆けて導入・独自開発してきました。

全ての患者情報をクラウドで一元管理し、法人内外の医療機関、在宅の場や介護事業所から患者さまの介護、看護、診療の記録にアクセスすることができるようになりました。この画期的な情報共有のあり方は、恐らく日本で初めての取り組みであったと自負しています。

「充実したリハビリテーション」では、高齢化社会を迎える中、急性期医療だけではなくスムーズに社会復帰に移行するための高度・最新のリハビリテーションを提供しています。

「トータルヘルスケアを支える安心・信頼の患者支援」では、患者サポートセンターを設置し、地域の医療機関・施設と密に連携して患者さまの外来受診や入院から退院後の介護サービスまでを丁寧に支援しています。

—— 地域に必要とされる医療を、高い質を保ちながら統合的に提供されているのですね

特に高齢者医療では、急性期から回復期、在宅・社会復帰の道筋をしっかりと描くことが重要です。そこを描くことができなければ、病床が停滞してしまったり医療ではなくケアになってしまいかねません。そのため連携施設の整備も、精力的に進めています。

2023年には等潤病院の機能を強化する分院と在宅医療、通所サービス、住居サービスを併せ持った「等潤メディカルプラザ」を開設しました。

同時に地域の急性期医療を担う病院として、回転率を高めて積極的に患者さまを受け入れていきます。トータルヘルスケアは患者さまの早期の回復のためにも、当院が急性期を維持するための出口戦略としても、重要な意味合いを持っているのです。



理事長・院長インタビュー

—— 目指す方向性や将来像について教えてください

地域医療構想で区東北部の患者動向を見ると、脳卒中や心筋梗塞、肺炎、骨折といった救急疾患についてはある程度この地域内で完結していますが、がんなどの少し時間的猶予のある疾患については高度医療やがんセンターでの専門治療を求めて区中央部に流れている傾向があります。

救急に関する自構想区域完結率もこの地域は約80%（全体では約50%）ですが、やはり本来、地域の方が求める医療はなるべくこの地域内で完結させてあげたいという思いがあります。特に当院は内科・外科・整形外科・脳神経外科を備えた、地域になくてはならない救急病院です。地域で必要とされるあらゆる医療を提供できるよう体制構築に努めてまいります。

一人ひとりの志が、理念の実現を担う

—— どのような先生にお越しいただきたいですか

医療において最も大切なのは、やはり医療を担う「人」であります。医師としての研鑽を積んでこられた先生であると同時に、当院の理念や使命に共感いただける地域医療への高い志を持った先生を求めています。

たとえば大学病院の患者層は若い方が多いですが、ここでは高齢者が中心です。検査や診察に来てくださいと言っても、生きていくだけでも大変というような高齢者も多くいらっしゃいます。ですから単純にこの疾患にはこの医療を行うというのではなく、患者さまそれぞれが抱える背景を丁寧にくみ取りながら、寄り添う診療が必要とされています。

また医師は医療現場における指揮命令システムのトップと言われますが、私は医師が担うべき役割は「コーディネーター」だと考えています。患者さまを中心に、医療・看護・介護を取り巻くスタッフやさまざまな関係者に配慮しながら、最適な医療・ケアが提供できるようまとめていく役割です。上意下達の関係ではなく、協調性を持って取り組んで頂きたいですね。

——働く環境についてはいかがでしょう

大変働きやすい環境であると思います。
看護師を始めとしたコメディカルは非常に協力的で、医師のこうしたいという思いに一生懸命応えてくれます。医師事務作業補助体制加算の導入以前より医師事務作業補助者を配置しており、診断書などもサインだけで済むような体制となっています。医療連携を担う患者サポートセンターも紹介先探しなどにアクティブに動いてくれます。

先に申し上げたように、IT環境の整備や最新の医療機器の導入も進んでおり、先生が希望される機械も積極的に検討しています。さまざまな形で医師をサポートする体制がありますので、医療に専念いただくことができます。

働き方については、現在は医師の働き方も多様化しています。
画一的な働き方の提示ではなく、先生方でできることや実現したいことをいかに当院がサポートし、活躍いただけるかを第一に考えていきたいと考えています。

——先生方へのメッセージをお願いします

新型コロナ禍では多くの救急病院が発熱患者や呼吸器症状のある患者を受け入れなくなる中、当院は地域の最後の砦として全ての患者さまを受け入れることを決意し、全職員の結束のもと力を尽くしてその役目を全うしました。当院の理念、目指す医療をよく理解された協力的な医師やスタッフが集っていることを誇りに思います。

当院は東京医科歯科大学の関連病院ですが、近年は大学派遣に限らず自己応募からも多くの先生が入職されています。一生懸命に取り組まれている先生方ばかりですが、一方でそれぞれが異なるバックグラウンドや経験を持っているため、理念の浸透や方向性の統一がより一層重要だと感じています。目指すべき方向性が同じだからこそ、力を合わせ困難にも立ち向かっていくことができるのです。

当院の地域医療への思いに賛同し、共に地域のためにお力を尽くしていただける先生にぜひお越しいただきたいと思います。心よりお待ち申し上げます。

募集要項

MRI、CTなど医療設備は最新を完備！ 地域医療を担う医師として、愛を持って 一緒に働きたい先生を探しています！

急性期疾患や回復期リハビリテーションの必要な方の医療を行っていますが、**法人理念の「トータルヘルスケア」の実現**に向け、法人内の在宅医療、訪問看護や介護部門との強い連携を保ち、医療介護の一貫したサービス提供に力を入れています。

2023年9月に分院である「等潤メディカルプラザ病院」をオープン！
さらに足立区とその近隣では初となる緩和ケア病棟を開設し、透析センター、健診センターも新築移転した、今勢いのある法人です！

等潤プロフェッショナル

当院の医療を支える“4つのスペシャリティ”

当院は、法人理念の「地域と共に生きる慈しみのトータルヘルスケア」を実現し、急性期から回復期まで安全で良質な医療を地域の方々のために等しく提供いたします。

高度最新の医療を提供するのはもちろんのこと、
病院（急性期から回復期まで）とご自宅（通所・在宅から介護まで）をシームレスにつなぐリハビリテーションを可能にします。

そんな等潤病院の医療を支える“4つのスペシャリティ”が等潤プロフェッショナルです。



01.高度最新の医療



02.充実したIT環境



03.充実した
リハビリテーション



04.トータルヘルスケアを
支える安心信頼の患者支援

【求人条件(全科共通)】

- 勤務科目：整形外科、一般内科、一般外科消化器外科
- 勤務日数：週5日勤務が基本、4日・4.5日
（4日+半日または4日+隔週1日）も可
- 勤務時間：週5日・4.5日勤務の場合 8:45～17:00 (休憩45分)、
週4日の場合 8:45～17:45 (休憩60分)
- 休憩時間：45分・60分
- 当直回数：月2回
※当直免除希望の場合は月2～3回程度の早番・遅番をお願いします。
【早番】7:00～8:45【遅番】17:00～19:00、手当1万/回
（以上、宿日直・早番遅番について詳細は面談にて）
※上記時間での入院対応時は3万円
- 当直体制：2名体制 1st救急外来：非常勤、2nd入院対応：常勤
- 基本給与：週5日1,600万（経験10年）・1,800万（経験20年）
1900万円(経験25年)より経験・資格・技能より応相談
※整形外科は週5日で、年俸1,800万（経験10年）・
2,000万（経験20年）より応相談、
※循環器内科で心カテ等を積極的に実施する医師には
インセンティブを付けます。
他診療科も考慮します。
- 当直手当：別途支給 平日宿直4万/回、休日日直6万/回
※入院が発生した場合1.5万円支給/回
- オンコール：原則なし
予期せぬ入院患者の急変等では電話連絡が入ることあり
- その他：非常勤職員の共通項目
【1日勤務】 8:45～17:15 (休憩60分)
【半日勤務】 午前；8:45～12:30 午後；13:30～17:15
時間外手当は30分単位で支給。
業務内容：一般診療・専門診療（診療科による）・急患対応
外来受付時間帯のみの勤務ではありません
手当：1日10万円/回、半日5万円/回（いずれも交通費込）
マイカー通勤：駐車場の空きがあれば可、駐車場料 500円/回

福利厚生

子育て世代にも柔軟な働きやすい勤務環境や、職員一人ひとりのワークライフバランスに対応し、専門職のキャリアを切らさず高いモチベーションを維持できるよう働きやすい勤務環境を整えています。



東京ライフワークバランス認定企業に認定されています

東京ライフワークバランス認定企業とは、従業員が生活と仕事を両立しながら、いきいきと働き続けられる職場の実現に向け、優れた取組を実施している中小企業等を選定し、その取組を普及・促進イベント等で広く公表することにより、生活と仕事の調和等、働き方の見直しについて社会的醸成を図るとともに、都内中小企業の雇用整備の推進のために行っている取り組みです。

【福利厚生・支援制度】

- 契約期間：無期
- 休日：日曜日、祝日
- 休暇：有給休暇
(法令通り(6ヵ月後10日支給、以後1年毎に1日追加で最大20日迄))
夏季休暇(公休を含む連続7日間)
年末年始休暇(12/31～1/3)
- 定年制度：定年70歳、再雇用可・75歳まで毎年契約更新
- 退職金：無
- 各種保険：社会保険・雇用保険等加入有り、法人として医師個人の医師賠償保険に加入
- 赴任手当：要相談
- 住宅手当：なし
- 通勤手当：本会基準の経路で上限月額5万円まで支給、
マイカー通勤可・通勤費は国が定める非課税交通費の基準額を支給、
職員駐車場利用可・月額1万円～
- 時間外手当：法定残業月40時間分・深夜残業月24時間分は基本給に含まれる
上記を超える法定時間外労働25%増・法定休日労働35%増・深夜労働25%増
- 学会参加：国内学会年1回は出張扱い、その他、当院の筆頭演者としての発表も出張扱い
資格維持や施設基準のための学会・研修は都度、理事長決済
- 賞与：原則無
- 昇給：原則無(業績等により実行することがある)
- 育児支援：院内保育所(24時間)
- 駐車場：あり
- 大学医局：東京医科歯科大学 日本医科大学

【職業安定法改正による必須記載事項(全科共通)】

- 契約期間の定め：なし
- 試用期間：原則3ヵ月間 条件変更なし
- 給与の支払日：月末の当月25日支払い
- 受動喫煙対策：施設内における全面禁煙の実施有
喫煙室の設置無
- 自己都合退職の申告期間：2ヶ月前までに申し出ること

▼整形外科▼ 1名～

勤務開始：随時
募集背景：欠員のため
勤務内容：外来診療、病棟管理、オペ
主な疾患：外傷、脊椎、人工関節
オペ件数：265件(2022年度)
医師体制：常勤1名(40代 脊椎専門)・非常勤4名
その他：麻酔科常勤在籍あり
※非常勤医・第一希望：火・木、第二希望：月・金の終日定期非常勤も募集中

▼一般内科▼(循環器内科、糖尿病内科、消化器内科等、内科系であれば検討可能)

勤務開始：随時
募集背景：12月末で2名の内科医退職①②、3月末で2名退職予定③④
勤務内容：外来診療・病棟管理・救急対応・心カテ・内視鏡検査
主な疾患：内科疾患全般
医師体制：常勤医3名（うち2名は大学派遣）呼吸器内科・消化器内科・腎臓内科

▼一般外科・消化器外科▼

勤務開始：随時
募集背景：常勤医の高齢化医局からの若手医師の補充が、専門医制度の影響などで不安定となっており、専門領域は特にこだわらず、食道胃、大腸、肝胆膵などいずれも可
勤務内容：外来診療、病棟管理、オペ
オペ件数：379件(2022年度)
医師体制：7名

▼老健イルアカーサ 施設長・健康管理医師▼

勤務開始：随時
募集背景：高齢で通勤が負担になってきたことでの退職希望、後任急募
勤務内容：入所者100名の健康管理（IC、処方、書類作成、状態変化時の対応、など）
※週5日勤務の場合、等潤病院外来業務や健診業務で週1コマのご担当も可能
日数：週4日・4.5日・5日勤務可、1日の所定労働時間は守ってもらいますが、時差出勤なども考慮します。
週所定労働時間32時間を満たせば多様な働き方も相談可能
年収目安：週5日勤務で1,500万円～（週勤務日数で按分、経験スキルにより応相談）
オンコール対応：原則なし、まれに電話対応が発生することがあります。
夜間・休日の看取りは家族同意もと、次診療日の対応ないし等潤病院にて対応。

▼健診センター等潤／婦人科健診非常勤医師▼(女性限定)

勤務開始：随時
募集背景：新たなプラザ内健診センターでは婦人科健診の設備をそろえました。
女性医師限定。週1回、半日～1日勤務より実績を見ながら増加検討。
婦人科健診以外の、一般健診もお手伝い頂ける方歓迎。
勤務内容：婦人科検診(半コマ) 一般健診(半コマ)
曜日：月曜～土曜 週1回

地域について

自然豊かで人情味に溢れる、住みやすい街

現在の足立区の人口は約69万、面積は53.25平方キロメートル。

下町人情に厚い方が多いアットホームな雰囲気のある街ながら 東京23区内なので都心へのアクセスも快適です。

荒川をはじめとした水辺や区内に点在する公園の緑などの自然環境が豊かな街で、江戸四宿の一つである千住や 西新井大師などの古き良き時代の香りが今なお残っています。



足立区内の区立公園の面積は23区内最大で多くの公園を有しています。

足立区区長は23区の中で唯一の女性であり、子育て支援にも力を入れています。

待機児童も減少傾向です。小・中学校は学区を越えた進学先の学校選択制を採用しているので公立においても学区にとらわれず自由に学校を選べます。



地価は東京23区内で最も低い地価水準でマイホームを戸建て選択される方も多くいます。住環境、子育て環境が年々地域住民一体でより良いまちづくりを進めているおり、足立区政に関する世論調査では、暮らしやすいと感じている人が約8割いることが何よりの結果ではないでしょうか。

進むアカデミックな街づくり

足立区には、千住地域を中心に6つの大学が進出しました。各大学は地域に開かれた大学を目指し、区や地域との連携を進めています。今後も大学連携を積極的に推進し、活力あるまちづくりや区のイメージアップを図っています。

放送大学（東京足立学習センター） ▶ 平成5年設置
東京藝術大学 ▶ 平成18年開設
東京未来大学 ▶ 平成19年開設
帝京科学大学 ▶ 平成22年開設
東京電機大学 ▶ 平成24年開設
文教大学 ▶ 令和3年開設



私立中学は区内に足立学園中学校があります。都内の各学校への進学も不便なくアクセス可能な立地です。

柴又帝釈天

帝釈天自体は葛飾区にある約400年近い歴史を持つ寺院です。

慈生会等潤病院の名前の由来は「慈雨等潤」という言葉より、柴又帝釈天の望月日翔上人に名付けていただきました。

地域に根付く医療法人として、この地で地域の人々のために尽くす。

当法人の性格を表す名を名付けていただいた寺院ですが、大変見所の多い落ち着いた寺院となっています。



休日も満喫できるおすすめスポット

足立区は23区内でありながらも、ゆったりと過ごすことができる落ち着いた街です。歴史的な観光名所も多く、また公園も多いためのんびりリフレッシュできるスポットも多いので休日の時間も楽しく過ごすことができるでしょう。

また、季節を通して街全体のイベントも盛んです。



西新井大師

厄除けの霊場として栄える「関東三大師」のひとつ



舎人公園

広大な総合公園。BBQ、花見スポット



足立区生物園

足立区唯一の水族館兼動物園



元漕江公園

大きな公園で広がる冬場のイルミネーションが人気



足立区花火大会

毎年12,000発もの花火が夜空を彩ります。



しょうぶ沼公園

約8,000株が見頃を迎える時期は圧巻の景色

概要・アクセス

基本情報

名称：社会医療法人慈生会 等潤病院

住所：〒121-0075 東京都足立区一ツ家4-3-4

病院長：伊藤 雅史

診療科：＜内科系＞
内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・人工透析・
糖尿病内科・神経内科・血液内科
＜外科系＞
外科・乳腺外科・整形外科・消化器外科・脳神経外科・血管外科・
肛門外科・麻酔科・泌尿器科
＜その他診療科＞
放射線科・救急科・リハビリテーション科・緩和ケア科・リウマチ科・皮膚科

病床数：等潤病院病床数：150床
一般病棟78床、地ケア病棟30床、回リハ病棟42床
〈関連施設〉等潤メディカルプラザ病院病床数：緩和ケア病棟20床

各診療科専門医数

専門医	人数
日本外科学会	7名
日本消化器病学会	2名
日本消化器外科学会	5名
日本消化器内視鏡学会	4名
日本乳癌学会	2名
日本内科学会	1名
日本呼吸器学会	1名
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡	1名
日本整形外科学会	2名
日本旅行医学会	認定医 1名
検診マンモグラフィ読影	認定医 3名
日本癌治療認定医機構癌治療	認定医 4名
日本医学放射線学会	1名

病院機能

地域救急医療センター
第二次救急医療機関
指定二次救急医療機関
強化型在宅療養支援病院
東京都脳卒中急性期医療機関A
DPC対象病院
病院機能評価認定

診療指定

- 東京都指定二次救急医療機関
 東京都災害拠点連携病院
 健康保険指定医療機関
 国民健康保険指定医療機関
 労災保険指定医療機関
 船員保険指定医療機関
 生活保護指定医療機関
 結核予防法指定医療機関
 原爆被害者一般疾患指定医療機関
 障害者自立支援法（厚生医療：腎機能）
 公害医療機関
 救急救命士再教育（病院実習）実施医療機関
 日本外科学会外科専門医制度関連施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
 マンモグラフィ検診施設画像認定
 日本リウマチ学会教育施設認定
 日本呼吸器学会関連施設
 法人会人間ドック実施病院
 日本消化器外科学会専門医修練施設
 地域救急医療センター（東京ルール）
 機能強化型在宅療養支援病院
 日本呼吸器内視鏡学会 関連認定施設

アクセス



- 車でお越しの方：
 - 環状7号線 青井5丁目交差点を入り一つ目の交差点（信号無）を右折
- 電車でお越しの方：
 - つくばエクスプレス線 青井駅 A1出口より徒歩13分
 - つくばエクスプレス線 六町駅 A1出口より徒歩12分
- バスでお越しの方：
 - 東京メトロ千代田線 綾瀬駅西口 東武バス3番乗場 綾24系統[竹ノ塚駅東口行]4番乗場 綾40系統[花畑団地行]『青井六丁目』バス停より徒歩3分
 - 東武スカイツリーライン 竹ノ塚駅東口 東武バス2番乗場 綾24系統[綾瀬駅行]『青井六丁目』バス停より徒歩3分



▼ 採用に関するお問い合わせ
株式会社Rakusai
江上 志保(エガミ シホ)
MOBILE : 080-4297-3401
E-mail : egami@rakusai-corp.jp